

日 時	令和6年11月21日(木) 11:00~12:00 第5回経営会議
出席者	平原副市長、伊地知副市長、大久保副市長、佐藤副市長、技監、政策経営局長、総務局長、財政局長、市民局長、中区长
欠席者	脱炭素・GREEN×EXPO 推進局長
議 題	2 今後の市立図書館再整備の方向性【教育委員会事務局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館全体の再整備等を進めるにあたっての基本的な考え方として、次の3点を「対応の方向性」とする。 <ol style="list-style-type: none"> 1 市立図書館の再整備・機能拡張 <ol style="list-style-type: none"> (1)中央図書館と身近な拠点である地域館で、交通アクセス等を踏まえ、提供する機能を分担 (2)1区1館を基本としつつ、時代・ニーズの変化と市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新たな大型図書館を整備 2 図書サービスへのアクセス向上 <ol style="list-style-type: none"> (1)図書取次拠点の増設 (2)図書取次サービスを支える物流拠点の整備 3 デジタル技術の積極導入 <ol style="list-style-type: none"> (1)デジタル技術を活用した多様な体験の提供 (2)より便利で使いやすい図書館の実現 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の市立図書館全体の枠組みを再構築し、デジタル技術も活かしながら、提供するサービスの充実とアクセス性向上を目指す。 ・「対応の方向性」は当面10年程度の基本的な考え方とし、個々の図書館の具体的な方向性は、各図書館の再整備等の際に別途検討する。 ・時代の変化・ニーズの多様化や現在の図書館が抱える課題に対応するため、“機能分担”によりサービスを提供する。 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度な財政負担とならないよう、公民連携手法を活用した事業スキームを検討すること。 ・本方針に基づく図書館は情報提供・交流機能等が強化されることから、他施設を含めた複合化による魅力向上や施設の最適化、適切な配置等を考える必要がある。 ・財政局においては、財政ビジョンの目標達成に向けて、ファシリティマネジメントにおけるガバナンスを発揮してほしい。 ・デジタル化やサービス提供手法の変化を踏まえ、司書職が担う役割について整理すること。 ・地域館の機能を踏まえると、地域の方々と魅力をつくる必要がある。司書職の役割が大事であり、区との連携を図って進める必要がある。

・再整備にあたっては、複合施設等の状況を見て調整すること。

【結論】

主な意見を踏まえつつ、局案について了承。